

Library News!

発行:金沢市立紫錦台中学校図書館

2020年10月

秋を満喫しよう。



今年の中秋の名月は、とてもきれいでしたね。火星や土星などの惑星も明るく見え、虫の声をBGMに幻想的な秋の空をしばし堪能しました。

忙しい毎日の中にも、ホッと落ち着ける瞬間は見つかるもの。さあ、読書の秋です。本を開いて、本の世界を楽しむ時間を、生活に取り入れてみてはいかがでしょう?きっと充実した気分が味わえますよ。ぜひ、図書館へ。

新聞記事より...



テニス全米オープンで優勝した大坂なおみ選手。アメリカで警察の暴力などの犠牲になった黒人の名前が書かれたマスクが注目されました。

日本で暮らしていると、人種差別を肌で感じる場面は少ないかもしれませんが、今この地球上で起きている問題です。報道や本を通じて、あなたも考えてみてください。

<こんな本、読んでみて!>
『秘密の道をぬけて』

ロニー・ショッター / 著
『学校では教えてくれない
本当のアメリカの歴史』

ハワード・ジン / 著
『ネルソン・マンデラ』

筑摩書房編集部
『希望の図書館』

リサ・クライン・ランサム / 著

10月27日~11月9日は

読書週間です。

金沢市の中学校では、読書週間にあわせて「読書週間の給食」が企画されています。今年は、小川系の小説『食堂かたつむり』の中でいい味を出しているメニューが、給食の献立になります。(小川系ファンの私は、聞いた瞬間「やったー!」と叫びました★)小川系の小説には、おいしいものがたくさん登場します。給食も小説も絶対おススメです!紫錦台中学校では、10/26(月)に登場しますよ。乞うご期待♡



小川系の小説のテーマは、「家族」です。身近な存在だけに思いを素直に伝えられない、どんな風に接したらいいかわからない、そんな気持ちを、時に淡々と、時にドラマチックに語りかけてくる作品ばかりです。

今月、図書館では小川系の作品を一挙に紹介します。この機会にぜひ読んでみてください!



この本、どうでしょう?

『天、共に在り』 中村哲 / 著



昨年アフガニスタンで銃撃を受け亡くなった医師、中村哲さんの本。砂漠に用水路を作り、難民を救った。彼の冷静な思考と情熱的な行動、国を超えた交流が胸を打つ。国際社会の矛盾が気にかかる。

『月のえくぼを見た男』 あさだごうりゅう 浅田剛立 / 鹿毛敏夫 / 著

月のクレータにその名前が付けられている江戸時代の天文学者、浅田剛立。観測に基づき8年後の日食を予測した。200年以上も前の日本にこんな人がいたなんて!

『アドリブ』佐藤まどか / 著

フルーツとの電撃的な出会いから5年。ユージは才能を認められ、難関の国立音楽院に入学する。クラシック音楽界の厳しさを目の当たりにし、個性的な仲間たちとのしぎを削る。



本は新しい自分への扉